



公園活用の手引き(案)

【令和4年度版】

令和4年4月1日
パークファン事務局





『公園』ってどんなところ？

公園は、人々が集い、憩い、そして交流する空間であり
生活する上で欠かせない大切なインフラです。

公園を整備して維持管理をすることで
都市の景観や環境をより良くするとともに、都市の防災性や生物多様性も高まり
日々の生活に豊かさをもたらすことにつながります。



みんなで公園活用事業（パークファン）とは

大阪市では、令和3年度から市民や事業者の皆さまとともに
公園をもっと自由な発想で、もっと柔軟に、もっと楽しく使いこなすために
「みんなで公園活用事業（愛称：パークファン）」を進めています。

「パークファン」という名前には、皆さまにとって『公園がもっと楽しい（fun）場所』となるように
そして『公園のファン（fan）』が増えるようにという思いが込められています。

この取り組みでは、市民や事業者の皆さま自身が主役となり
公園という場所を活かした様々な活動を通して、幅広く活躍していただけるように応援します！



スキルやアイデアを活かす『プロボノ』活動の場に

『プロボノ』とは、日常のお仕事や活動で培った専門的なスキル・経験、アイデアなどをボランティアとして提供し、地域課題の解決に成果をもたらすことを意味しています。

パークファンの取り組みの中で、公園を活用していただくプレーヤーの皆さまにもぜひ『プロボノ』として活動し、公園から地域を元気にいただければと思っています。

また、プレーヤーの皆さまにとっても
この活動が新たな発見や人との出会いの場になることを願っています。

暖かな日差しが降り注ぐ身近な公園で、あなたならどんな素敵な体験を提供しますか？

<お問い合わせ> パークファン事務局

Mail: parkfan@city.osaka.lg.jp





パークファン事務局について

パークファン事務局の役割

- ・ 公園事務所との協議
- ・ プログラムの企画への助言、相談、行為占用許可申請手続きのサポート
- ・ パークファン事業及び各プログラムの広報支援（HP、SNS、チラシ、区の広報誌等）
- ・ パークファン事業に関する苦情・要望への対応
- ・ 物品の貸出（人工芝（ロール・円形マット）、のぼり、看板）

具体的な支援内容

プログラム開催前	・ プレーヤーの事前交流会の開催 ・ 他のプレーヤーとのコラボ実施の提案 ・ 企画書や、公園使用に伴う行為・占用許可申請書への記入内容についてのアドバイス ・ HP・SNS・チラシ・区の広報誌等を活用した情報発信（開催予告） ・ プログラムチラシの作成サポート（希望者のみ） ・ 区役所や公園事務所、地域（愛護会・町会等）への協力依頼
プログラム開催中	・ HP・SNS を活用した情報発信（開催予告・報告） ・ 物品の貸出（人工芝（ロール・円形マット）、のぼり、看板） ・ パークファン事業に関わる苦情への対応
プログラム開催後	・ HP・SNS を活用した情報発信（開催報告） ・ プレーヤーの事後交流会の開催（プログラムの開催報告等）等

下記についてはプレーヤーご自身での実施をお願いします

- ・ プログラムの企画立案・実施・運営、運営責任者の配置
- ・ プログラムの事故予防と安全管理
- ・ プログラム当日の使用資器材の運搬、会場の設営、撤収、清掃、原状回復
 - 当日のパークファンののぼり・看板の設置も含む（右写真参照）
- ・ プログラムチラシの印刷
- ・ プログラムの広報（個人の SNS や連携団体の HP 等での情報発信）
- ・ プログラム開催に伴う費用の確保
- ・ 公園の使用許可申請に伴う、書類の提出・許可証の受け取り・公園使用料の支払い手続き
- ・ プログラムの内容に関する苦情への対応
- ・ 雨天等で中止した場合の対応（SNS での情報発信や現地での対応等）
- ・ 地域で愛される公園づくりへの寄与（公園全体の清掃、地域との連携等）
- ・ 取り組みの公共性をさらに高める工夫（当日参加枠の確保、他の公園利用者への配慮等）



【パークファン事務局が作成・更新する情報発信ツール】

ポスター(A3サイズ)



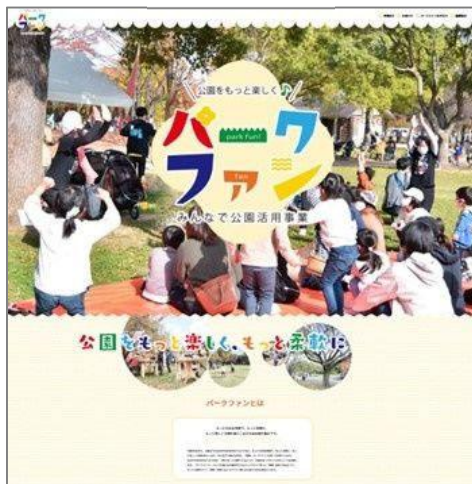
配布・回覧用チラシ(A4 サイズ)



紙媒体

HP

【TOP 画面】



【個別プログラム】



Twitter



電子媒体

Facebook



LINE

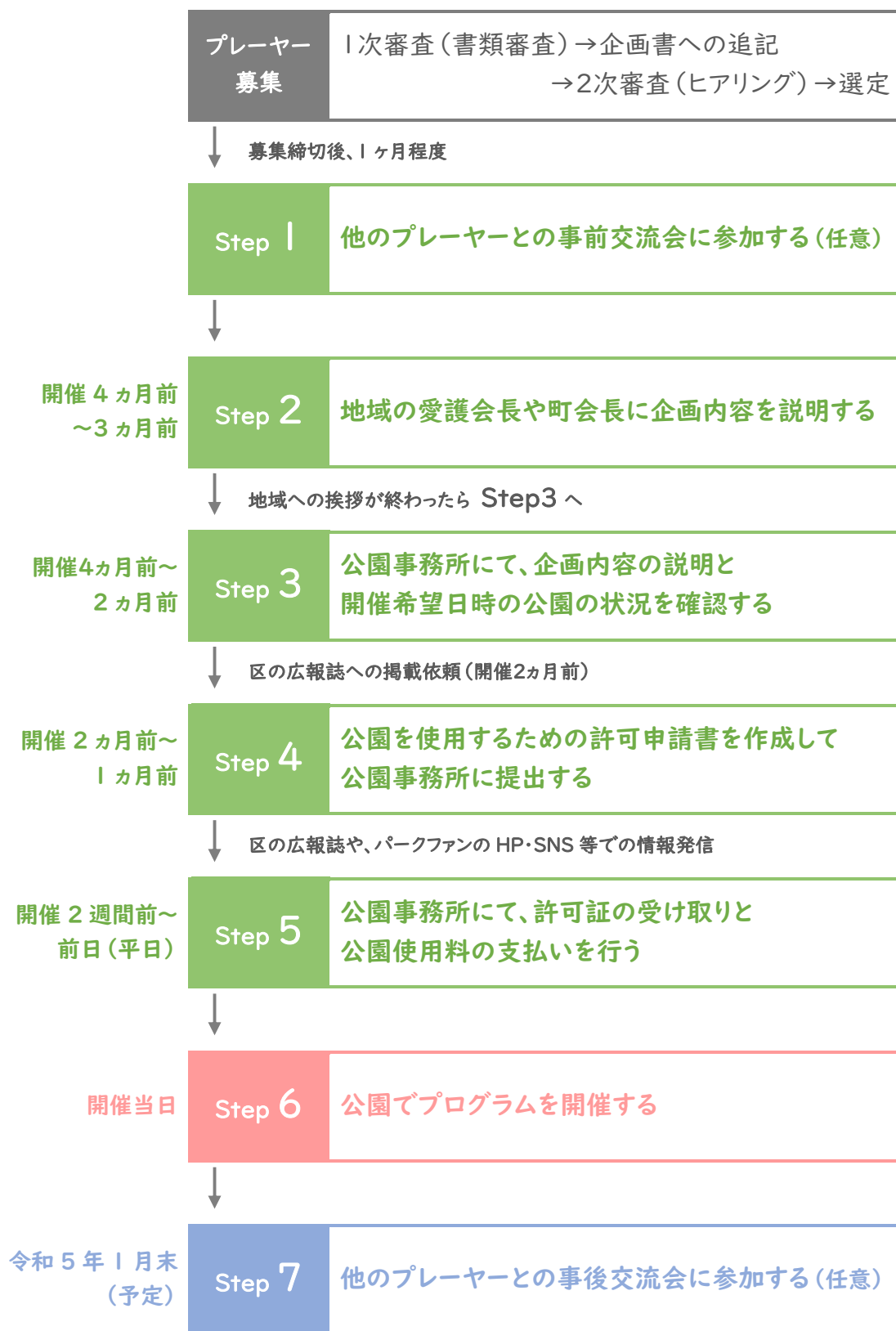


Instagram



公園を使いこなすための **7** のステップ

要チェック!



活用可能な公園について

- ・パークファンとして活用可能な公園は、近隣公園及び地区公園です。
- ・「大阪市都市公園一覧表(令和3年4月1日現在)」の7~70ページをご参照の上、公園種別が「近隣公園(略記号:近)」及び「地区公園(略記号:地)」の公園からお選びください。
(<https://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/cmsfiles/contents/0000372/372135/2021kouen.pdf>)
- ・活用したい公園の名称がわからない場合は、事務局にお問い合わせください。

公園事務所 MAP

- ・各公園事務所の担当エリアは、下記マップでご確認ください。
- ・希望される公園がどの区にあるのかわからない場合は、事務局にお問い合わせください。



●宿日直センター *公園事務所が休館時に事故等が起こった場合の緊急連絡先

【受付時間】 平日 17時30分~翌朝9時
土曜日、日曜日、祝日等並びに12月29日~1月3日の終日
【電話】 06-6947-7981

①鶴見緑地公園事務所 *担当エリア|都島区・旭区・城東区・鶴見区(鶴見緑地を除く)



〒538-0036

住所 大阪市鶴見区緑地公園 2-163
<花博記念公園鶴見緑地内>

最寄駅 Osaka Metro 鶴見緑地

電話/FAX 06-6912-0650/06-6913-6804

②真田山公園事務所 *担当エリア|天王寺区・東成区・生野区



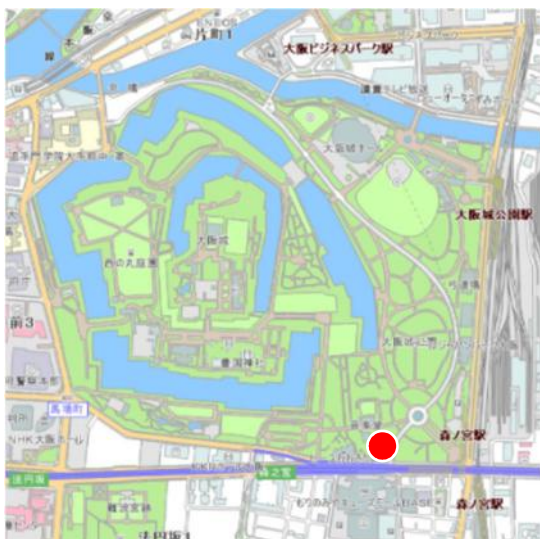
〒543-0015

住 所 天王寺区真田山町 5-70
<真田山公園内>

最 寄 駅 Osaka Metro・JR 玉造

電話/FAX 06-6761-1770/06-6761-1645

③大阪城公園事務所 *担当エリア|中央区・西区・浪速区



〒540-0002

住 所 大阪府中央区大阪城 3-11
<大阪城公園内>

最 寄 駅 Osaka Metro・JR 森ノ宮

電話/FAX 06-6941-1144/06-6943-6877

④八幡屋公園事務所 *担当エリア|港区(八幡屋公園を除く)・大正区・西成区



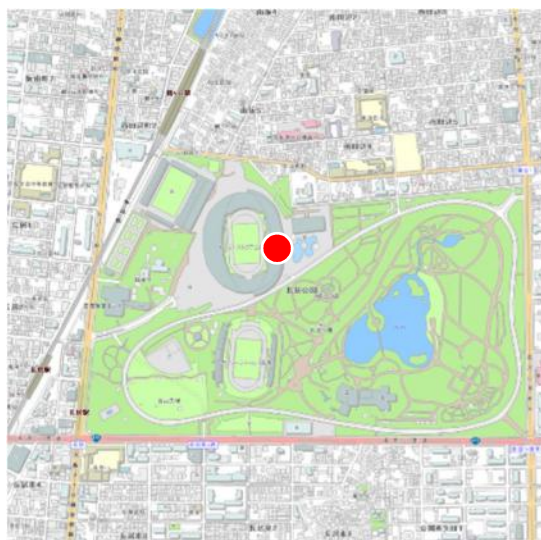
〒552-0005

住 所 大阪市港区田中 3-1
<八幡屋公園内>

最 寄 駅 Osaka Metro 朝潮橋

電話/FAX 06-6571-0552/06-6572-1663

⑤長居公園事務所 *担当エリア|阿倍野区・住吉区・住之江区・東住吉区(長居公園を除く)・平野区



〒546-0034

住 所 大阪市東住吉区长居公園 1-1
<長居公園内>

最 寄 駅 Osaka Metro 長居、JR 長居・鶴ヶ丘

電話/FAX 06-6691-7200/06-6691-6976

⑥扇町公園事務所 *担当エリア|北区・福島区・此花区



〒530-0025

住 所 大阪市北区扇町 1-1-21
<扇町公園内>

最 寄 駅 Osaka Metro 扇町、JR 天満

電話/FAX 06-6312-8121/06-6312-3403

⑦十三公園事務所 *担当エリア|西淀川区・淀川区・東淀川区



〒532-0028

住 所 大阪市淀川区十三元今里 1-1-41
<十三公園内>

最 寄 駅 阪急十三

電話/FAX 06-6309-0008/06-6885-1591

令和3年度 プログラム事例集



令和3年度には
11プレーヤーにプログラム
を開催していただきました！
プログラムの詳細は
次頁以降をご覧ください。

プレーヤー・プログラム一覧

No.	プレーヤー名	プログラム名	プログラム概要
1	飯泉美加さん（色彩知育インストラクター）	親子de わくわくアート体験♪ ～生きる力を育む色彩知育®アート～	落ち葉での仮面づくりといった、自然の物を使った五感を育むワークショップの実施
2	vicinato	アナログプリントでつくる青空美術館	プリンティング体験と、公園内での作品展示
3	PLAYネットワーク関西	公園であそぼう	いろいろシャボン玉、自然素材クラフト、壁面アートあそびの実施
4	Smile on Field Project	5人制タグラグビー	腰につけたタグを取るというルールで、老若男女誰でも体験できるラグビーの実施
5	アフリカダンス&ドラム トライブス	あおぞらアフリカダンス&ドラム	アフリカの太鼓とダンス、リトミックの実施
6	清水明日香さん（シンガーソングライター）	野外歌声サロン	体操と歌唱による心身の健康増進
7	田辺幸美さん（ジムトレーナー）	30分さんぽ	ストレッチ、軽い筋肉トレーニング、ウォーキングを織り交ぜたプログラムの実施
8	株式会社ながやR	おうちみたいに楽しむ公園時間	公園を舞台にまるで公園にいるかのような空間を演出
9	合資会社ワイルドクラフト	公園のベンチをサード・プレイスとして活用するプロジェクト	ベンチにパラソルを取りつけ、読書や仕事ができる空間を創出
10	一般財団法人大阪スポーツみどり財団	公園にぎわいマルシェ	地域ボランティアによる絵本読み聞かせや体操と、キッチンカーの出店
11	大阪防災プロジェクト	クラフト防災パーク	5つのブースを設けて、スタンプラリーをしながら楽しく防災について考えるプログラムの実施

プログラムの位置づけ

No.	プログラム名	子育て・教育	健康増進	防災	空間活用 試行
1	親子de わくわくアート体験♪ ～生きる力を育む色彩知育®アート～				
2	アナログプリントでつくる青空美術館				
3	公園であそぼう				
4	5人制タグラグビー				
5	あおぞらアフリカダンス&ドラム				
6	野外歌声サロン				
7	30分さんぽ				
8	おうちみたいに楽しむ公園時間				
9	公園のベンチをサード・プレイスとして活用するプロジェクト				
10	公園にぎわいマルシェ				
11	クラフト防災パーク				

*その他：みどり、環境 等

：今回のプログラムで実施

まちの将来像 ーパークファンが目指すものー

- 新たな人のつながりによる
地域コミュニティの活性化
 - 健康増進・子育て活動等の活発化
 - 地域課題の解決
- 住むまちとしての都市魅力の向上
 - 市民生活が豊かになる
 - 自分のまちが好きになる



No. 1

親子 de わくわくアート体験♪

～生きる力を育む色彩知育®アート～

飯泉美加さん（色彩知育インストラクター）



目的	公園&地域の活性化・パパ&ママさんたち、子どもたちの横のつながりができるような取り組みを行えるよう、毎回色を探すワークから自由を感じてもらおうアートにつなげ、参加しているすべての人に自己充実感を味わってもらおう
内容	色のカードを使って、日常の中にある色に注目！ 落ち葉を集めて仮面にしたり、作った作品を発表したりして、自分を表現する楽しさや心地よさを感じることでできるプログラムでした♪
開催場所・日時	扇町公園：10/24（日）、下福島公園：11/8（月） ※各 10:30～11:30
参加者の声	・ 扇町公園と下福島公園にて、3～4組の方から活動をサポートしたいとの声あり ・ アンケートに協力いただいた参加者のほとんどがプログラムに満足し、他の公園でも同じプログラムに参加したいとの声あり
このプログラムの魅力ポイント！	・ プログラムの最後に親子1組ずつ発表する時間があり、子どもも自分の作品を見てもらうことがとても嬉しそうだった ・ 子どもが小さいときにこのような経験をすることは、育みの中でとても良いと思う
プレーヤーからのコメント	今回パークファンに興味を持って、自分で初めて企画書を書いて参加しました。パークファンに参加された方が、普段の活動で実施しているレッスンにも参加してくれて、繋がりができてとても良かったです！ プログラムでは、参加された皆さまと一緒に色を見たり、発表してもらえたりして私自身も楽しむことができました♪



目的	・ プリント体験をしてもらった参加者の作品を飾り付けて、公園内を彩り、非日常空間の中でみんなの笑顔を創造する。 ・ 生活がとても便利になった現代であるが、アナログプリントは失敗することもある。そんな失敗体験を通じ、子どもたちにチャレンジすることの大切さを伝えたい。
内容	参加者に自由に描いてもらった原画を元に、シルクの版を作成！ 画用紙、T シャツ、バッグにプリントしたら、ガーランドのように作品を飾り、みんなでひとつの景色を描きました♪
開催場所・日時	扇町公園：10/2（土）、六反さくら公園：11/20（土） ※各 10:00～16:00
参加者の声	・ このような、子どもが色んなワークショップに参加できる活動がもっと広がってほしい ・ 親子で参加できるのがよい ・ 小さな子どもが参加しやすい ・ 無料で楽しめるプログラムは嬉しい
このプログラムの魅力ポイント！	・ 六反さくら公園で開催した際には、今年の PARK JAM からプログラムのファンになった方が、事前申込をして自転車で 20 分かけて参加しに来てくれた ・ プログラムに参加された方が、赤ちゃんの足型を可愛くウサギの絵にして飾っていたのが素敵だった ・ プレーヤーのお子さまと、公園を利用している地域の子どもたちが自然と仲良くなり、プログラムの開催が新たな交流のきっかけになっていた
プレーヤーからのコメント	今回のパークファンでは2つの公園で実施しました。 それぞれの地域性の違いをとても感じたと共に、その地域によって求められていることを模索しながら、楽しんでもいただけることを提供していきます。 そして、プリントワークで出会えたファミリーや子どもたちの笑顔に、たくさんの幸せをもらえました。今後はこのプログラムを通して、「子どもたちの未来に繋がる力を育む」をテーマとして取り入れていきます！

No.3

公園であそぼう

PLAY ネットワーク関西



目的	都市の公園で『プレーパーク』のような自由な遊びの機会を増やし、人のつながりの創出や、公園への愛着を育むことを目指す
内容	リース作り、落ち葉プール、壁画アートあそび、電車ごっこをして、思いのままに好きなように誰でもふらっと遊びに来られる場所を作りました！ いつもの公園が、より魅力的で特別な空間になりました♪
開催場所・日時	●扇町公園 11/13(土) 10:00~15:00 ●真田山公園 12/4(土) 13:00~15:00 (12/4 は自然素材クラフトのみ)
参加者の声	・ 子どもにとって、とても良い取り組みだと思う ・ 音や動きのあるもの、自然のもので遊びが良い ・ 普段関わらない人との交流や、友達ができてとても嬉しかった ・ 作ることが好きなので、何かを作るイベントは嬉しい ・ 無料で楽しめたのでありがたい。無料なのに満足。
このプログラムの魅力ポイント！	・ 公園の形状や季節に合わせて、工夫次第で遊びを創り出すことの良さを子どもたちに伝えることができていた ・ プログラムへの参加をきっかけに、新たなコミュニティが生まれていた ・ 初めて出会ったばかりの子どもたちが、そのとき限りの公園での楽しい時間を共有できていた
プレーヤーからのコメント	今回このような機会をいただき、私たちはとても学び多い良い経験を得ることができました。そして、いつも私たちが見ている風景、子どもや保護者の笑顔、夢中になっている真剣な顔、お互い知らないもの同士の子どもたちや保護者が一緒になって遊ぶ姿、ごく自然に会話をしている様などを一緒に見て感じる事ができ、とても嬉しく思っています。 参加された方にも楽しんでいただけましたが、私たち自身も楽しむことができてとても良かったです♪

No.4

5 人制タグラグビー

Smile on Field Project



目的	- いつでも、どこでも、だれでもラグビーやラグビーボールに触れる機会を提供すること - 公園に地域コミュニティの場を構築すること
内容	ラグビーボールに触ってみたい!でもラグビーって怖そう?痛そう? いえいえ、タグラグビーなら大丈夫!腰に付けたタグを取るというルールで誰でも楽しく安全にラグビー体験ができるプログラムでした♪
開催場所・日時	扇町公園:9/25(土)、11/13(土) ※ 各 10:00~13:00
参加者の声	- ラグビーに触れ合う機会が得られて良かった - ラグビーのような、なかなか出来ないことができてよかった - 気軽に楽しめるこのようなプログラムはありがたい - 家族とともに楽しめた
このプログラムの魅力ポイント!	- 途中参加の子に対しても、他の参加者と溶け込めるようにプレーヤーが自然な形でサポートしたことで、その子もとても楽しそうにラグビーができていた - プログラムの最後には、子どもたちが無償でラグビーボールの形をした風船等を配布し、とても喜ばれていた
プレーヤーからのコメント	パークファンに応募したきっかけは、花博 30 周年記念イベントの PARK JAM に参加したことでした。沢山の方々にラグビーボールに触れて頂き、沢山の笑顔に触れることが出来ました。その様な縁からパークファンにも参加することになりました。 また、昨今の公園利用についても思うところがあり、特にお子さん達に、もっと自由に公園で遊べるような場所作りをイメージして開催しました。そんなパークファンでも沢山の笑顔や楽しかった♪次いつやるの?という声を頂きました!

No.5

あおぞらアフリカダンス &ドラム

アフリカダンス&ドラム トライブス



目的	公園で、アフリカ音楽を楽しめるプログラムを開催することで、地域を活性化する
内容	アフリカの太鼓とダンス&リトミック体験!軽快な音楽に、子どもも大人も自然と体がリズムを刻み、青空の下で楽しいひとときを共有できました♪
開催場所・日時	扇町公園:10/24(日) 10:00~16:00
参加者の声	・ こういった外で楽しめるプログラムをもっと増やしてほしい(プレーヤーのダンス教室に通っている方) ・ 体を動かしてよかった
このプログラムの魅力ポイント!	・ 扇町公園にアフリカの太鼓のリズムが馴染み、軽やかで楽しい空間となっていた ・ ほとんどの方が予約して参加されていたが、通りすがりの方も自然と身体がリズムを刻んでいた
プレーヤーからのコメント	アフリカダンスと公園はとても相性が良く、日本でも子どもから大人まで楽しめるようになればと思い、パークファンに参加しました。 1回目で不安なこともありましたが、参加された方も楽しんでくれたため、私自身も楽しむことができました!

No.6

野外歌声サロン

清水明日香さん(シンガーソングライター)

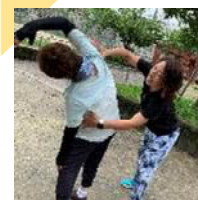


目的	新型コロナウイルスの影響により、ご高齢の方の認知・身体機能低下が進んでいるため、公園で体操と歌唱を実施することで、参加者の心身の健康増進を図る
内容	体操と歌唱で心と身体の健康増進!公園で空を仰ぎ、風を感じながら、みんなで気持ちよく歌うことで、心豊かな楽しい時間が生まれました♪
開催場所・日時	● 都島中央公園 10/20(水) 11:00、13:00 ・ 11/17(水) 10:30 ● 扇町公園 11/17(水) 14:00 ・ 12/4(土) 11:00、13:00 *各1時間
参加者の声	・ 医療センターで注射を打って出てきたら綺麗な歌声が聞こえてきて立ち寄った。家の近くでやってくれたら参加してみたい。心が洗われる。 ・ 元々室内で歌っていたがコロナで活動を休止していたため、参加できて良かった ・ 定期的に開催していただけるとありがたい
このプログラムの魅力ポイント!	・ 都島中央公園と扇町公園でのどちらのプログラムにも参加するほど、ファンになったお子さまがおられた ・ 回数を重ねるにつれて、リピーターが増えていた
プレーヤーからのコメント	自分がしてきた音楽で地域に貢献できることはないかと考え、ご高齢の方を対象に歌声サークルを立ち上げました。コロナ禍で屋内での開催が難しくなってからは、参加者の方からの要望もあり屋外の公園での活動をはじめ、その中でパークファンにも興味を持って今回参加しました。 プログラム開催後のプレーヤー交流会に参加したことで、改めてパークファンの意義を感じるとともに、次年度も参加したいという気持ちが強くなりました!

No. 7

30 分さんぽ

田辺幸美さん(ジムトレーナー)



目的	コロナ禍でスポーツジムや屋内プールが休館になり、運動したくてもできない、する方法がわからないという方に対して体を動かす楽しさを伝え、外に出るきっかけをつくる
内容	ベテランのジムトレーナーが、一人ひとりに合わせて運動量を調整し専門的にアドバイス！ 30分で効果的なストレッチやウォーキングを行うことで、心身ともにリフレッシュできるプログラムでした♪
開催場所・日時	● 都島中央公園 10/20(水) 9:00、9:40、10:20、15:00、15:40、16:20 10/27(水) 9:00、9:40、10:20 12/5(日) 9:00、9:40、10:20、15:00、15:40、16:20 ● 蒲生公園 10/27(水) 15:00、15:40、16:20 *各 30 分
参加者の声	・ 普段使わない筋肉を使える ・ インストラクターが付いているので安心 ・ 少人数で丁度いい ・ 身体が良くない人もこういう運動ならできる ・ 外に出るきっかけになる ・ 歩き方をとても分かりやすく教えて下さって感激した
このプログラムの魅力ポイント!	・ テレワーク中の 30 代の女性が2枠続きで参加され、幅広い世代の需要がみられた ・ 都島中央公園と蒲生公園で開催したプログラムの、すべての回に参加いただいた方もおられた
プレーヤーからのコメント	ジムに入会しなくても気軽に公園で運動できればと思い、パークファンに参加しました。公園を使用する方法がわからなかったため、知識や方法を得られてよかったです。また、パークファン事務局を介して地域や公園事務所と繋いでもらえたことで、地域や公園について色々と知ることができて楽しかったです♪



目的	・ コロナ禍でおうち時間が増えている今、家の中だけで過ごすことに窮屈さを感じている世帯が多い ・ そんな中、公園を「おうち」のように感じてもらえる活用方法を提案する
内容	公園の中の昭和のおうちで、のんびり憩いの時間。 本物のお風呂や玄関も出現し、思い思いに楽しめる工夫が盛りだくさん！ 地域の方ともコラボして、風車や竹とんぼなど昔遊びを教わりました♪
開催場所・日時	扇町公園：10/24(日)、巽公園：11/14(日) ※各 10:00～16:00
参加者の声	・ 外で本を読めるのは良い ・ フォトブースみたいで楽しかった ・ 普段体験できないようなことができて良かった（紙芝居やものづくり、昔遊び等） ・ こんなイベントをもっとやってほしい
このプログラムの魅力ポイント！	・ 公園内に、家で実際に使われていた設備を設置することで、参加者が思い思いに滞在して空間を楽しんでいた ・ 巽公園での開催時には地域とのコラボも実現し、ご高齢の方から子どもたちへ風車や竹とんぼ等の昔遊びをレクチャーする光景がみられ、多世代交流が生まれていた
プレーヤーからのコメント	昨年の PARK JAM では、公園の中にキャンプ場をつくろうというテーマでプログラムを開催しました。今回のパークファンではワークショップや体験はせず、「おうち」という身近なテーマに変えて空間を作り、そのままの状態を参加者の方楽しんでもらうことで、実験的に観察してみたいと思ってプログラムを企画しました。 これからも、色々面白いことを仕掛けていきたいです！

No.9

公園のベンチをサード・プレイスとして活用するプロジェクト

合資会社ワイルドクラフト



目的	新たに開発した木製パラソルベースの活用テスト、認知拡大、マーケティング調査
内容	普段は日の当たる公園のベンチに、パラソルで日陰スペースをつくりました！ 読書やテレワークなど利用方法は自由！ 日差しが強い日にも、屋外で快適に過ごせる空間が生まれました♪
開催場所・日時	扇町公園：10/2（土） 10:00～16:00
参加者の声	・ 日陰は快適だった ・ また日陰で過ごしたいと思った ・ 他の公園でもあれば利用したい ・ 参加者から、公園でテレワークする上で必要だと思うものとして、電源、ケーブル、椅子に次いでパラソル等のひさしという声あり
このプログラムの魅力ポイント！	・ パラソルを設置することで、日差しの強い日でもパラソルの下で思い思いに過ごす光景がみられた ・ 公園での新しい過ごし方の可能性がみられ、他のプログラムとコラボすることによる相乗効果が期待できるプログラムだった
プレーヤーからのコメント	今回は、低価格で居心地が良くなる場所を作れないかという発想を基に、プログラムを企画しました。公園で日差しがきつい時に何とかならないかなと思っており、公園のベンチにパラソルが簡単に設置できればと考えて、思いついたのがパラソルベースでした。パラソルベースをもっと色々な人に知ってもらいたいと思い、インターネットでパークファンを知って応募しました。



目的	マルシェの開催により、隣接する区役所の窓口利用者のみならず地域住民の方にも公園へ向かう流れを創り出し、地域人材と連携することにより、公園でのにぎわいづくりに資するとともに地域の活性化にも寄与する
内容	地域のボランティアグループによる絵本の読み聞かせや歌体操、昔あそびなどの企画、キッチンカーの出店によるマルシェ！ 公園でつながり、出会い、たくさんの学びのあるプログラムでした♪
開催場所・日時	蒲生公園：10/8（金）、10/22（金）、11/12（金）、11/26（金） 11/28（日）、12/3（金）、12/17（金） ※各 10:00～16:00
参加者の声	・ 子どもが地域の方と接することができて、とても素晴らしい取り組みだと思う ・ 人との繋がりができてよい ・ 子どもが作ることが好きなので、こういうプログラムはテンションが上がり魅力的 ・ キッチンカーに子どもが好きなおにぎりやホットドッグがあって良かった ・ 区役所の待ち時間が充実してよかった
このプログラムの魅力ポイント！	・ 地域ボランティアのプログラムでは、ご高齢の方が子どもに昔遊びを教える光景がみられ、パークファンをきっかけとした多世代交流が生まれていた ・ 「公園の清掃」をプログラムの 1 つとして加えていたため、子どもたちが遊び感覚で清掃を行う光景がみられた
プレーヤーからのコメント	今回のプログラムは、区役所と隣接する、地域と密着した公園での初めての試みでしたが、マルシェや地域ボランティアの方の活動など、色々な取り組みを通じて地域の方々と交流することで、人と人との繋がりができたと感じました！



目的	・ 南海トラフといった大規模災害が発生し、堤防が決壊すれば西淀公園を含めた周辺地域は甚大な被害を受けることになる。その時に少しでも多くの命を救うため、普段から防災意識の啓発を行うことは必要不可欠である。 ・ そのため、少しでも発災時の被害を軽減することを目的に本企画を実施
内容	被災時に役立つ、段ボールベッドや非常用持ち出し袋、パラコードブレスレット等を体験！スタンプラリーや防災クイズにチャレンジすることで、子どもから大人まで楽しく防災について学ぶことができるプログラムでした♪
開催場所・日時	西淀公園 2022/1/15(土) 13:00~16:00
参加者の声	・ 水災等の被害が大きい街なので、この公園でこのプログラムをするのはとても良い ・ 最近あまり災害がないため、防災意識向上のためにこういうプログラムを実施してくれて本当に嬉しい ・ 段ボールベッドなど、実際に目で見て体験できるところが良かった ・ 子どもが非常に興味を持っていた。子どもにも防災意識が身につく。 ・ パラコードブレスレット作りが楽しかった
このプログラムの魅力ポイント！	・ 子どもとその親だけでなく、公園の近くに居住しているご高齢の方も、事前に本プログラムを知り、当日は友人同士で参加していた ・ スタンプラリーや防災クイズといった仕掛けもあり、子どもも遊び感覚で防災に関する知識を得ることができるよう工夫されていた
プレーヤーからのコメント	公園は、災害時の一時避難場所に指定されているため、防災プログラムを開催することで、実際に被災したときの状況を体験できると考え、企画しました。 今回、パークファンに参加したことで、色々な地域の方からイベントや講演のお誘いをいただくことができたため、実施して良かったです！